

⑤美し国おこし・三重
CSR

中村 進一 議員
(新政みえ/伊勢市選出)

問

一連の事業で何をしようとしているのかが分かりません。遷宮、おかげ年という大昔からの流れにうまく乗るといふことを明確にすれば、もっと分かりやすいものになると思います。

多くの県民の協力が必要ですから、情報発信は分かりやすいものであるべきです。集客交流か、観光戦略か、地域づくりか、事業の性格をはっきりとお示しください。

答

この取り組みは、地域の方々が、特色ある地域資源や創意工夫を生かして取り組む、地域づくりが基本となります。

また、コミュニティビジネスや観光振興にもつながる経済的視点も織り込んだ仕組みづくりや、統一的な情報発信などに取り組み、自立・持続可能な地域へとつなげていくことを目指します。

その他の質問事項
○食の安全・安心の確保対策 ほか



③人目みえ応援プログラム事業

中川 康洋 議員
(公明党/四日市市選出)

問

県は第3子以降3歳児未満の特別保育に対し利用料軽減を図っていますが、あまり活用されていません。

子育て家庭の負担軽減に対し実効性ある制度とするには、第3子以降の通常保育料の無料化を実施すべきと考えます。

答

第3子以降の通常保育料の無料化も有効と考えますが、現行制度は多子世帯への経済的支援や特別保育の充実を促すものと考えており、当面は現行制度の推進をはかります。

福祉医療の助成制度の自己負担の導入をやめよ

萩原 量吉 議員
(日本共産党三重県議団/四日市市選出)

問

福祉医療費助成制度について、2割の自己負担の導入を考えていますが、大企業へは多額の補助金を交付しています。

その補助金の少しを削減し、未来ある子どもや障がい者、ひとり親家庭の医療費に使うことはできないのでしょうか。

答

県政にはさまざまな課題があり、その解決に向けて第二次戦略計画を着実に推進していくことが大切です。特に県政の重要な事業は、重点的な取り組みに位置づけているところであり、その成果を検証しながら進めていきます。

用語解説

①徘徊SOSネットワーク

認知症の高齢者とその家族を支援するため、モデル地域を設定し、地域の警察、消防、商店、バス・タクシー会社など、多様な主体の協力と参加を得ることにより、地域における重層的な連携体制を整備するもの。

②認知症サポーター

市町等が行う「認知症サポーター養成講座」を受講した方のこと。認知症の正しい知識をもち、認知症の高齢者や家族を応援するボランティア。

③地震対策推進条例

いつ起こってもおかしくない東海地震や、今世紀前半の発生が予想される東南海地震、南海地震に備えるため、県民、事業者の皆さまとそれぞれ役割分担しながら、一丸となって地震対策を推進していくことを定め、平成

16年4月に施行された条例。

④スクールカウンセラー

学校における相談機能の充実を図るため学校に配置している臨床心理士など、児童生徒の心の問題に関する専門家。

⑤美し国おこし・三重

平成21年から26年までの6年間にわたって行うイベントで、地域の特色ある歴史的・文化的資源を生かした地域づくりを基本に、多様な催しを展開することにより、集客交流の拡大や地域の魅力・価値の向上を図り、自立・持続可能な地域づくりへとつなげていくこととするもの。

⑥3人目みえ応援プログラム

平成19年度の三重県の新規事業で、3人以上の子どもを育てる家庭を支援するため、第3子以降の子どもが0〜2歳児の間を受ける、延長保育、病児・病後児保育、休日保育等の保育サービスについて、その利用料の軽減を図るもの。